

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和
8年
1月

こんにちは。2026年もどうぞよろしくお願いいたします。栃木は冬まっさかり。初雪も降り、日に日に寒さが厳しくなっています。皆さん、風邪などは引いていませんか？
新年最初の Newsletter 第89回配信です。

【診療科紹介 移植外科】

学生の皆様、こんにちは。突然ですが、皆さんは「移植外科」にどんなイメージを持っていますか？
「難しそう」「ハードルが高い」…そんなイメージがあるかもしれません。当院移植外科は、国内有数のハイボリュームセンターとして、年間20例以上の生体・脳死肝移植を実施しています。2022年には成人の脳死肝移植実施施設に認定され、新生児から大人まで、あらゆる患者さんの「生きたい」という想いに応えています。また、生体ドナーへの負担を考慮し腹腔鏡によるグラフト採取を行うと同時に、現在ロボット手術導入をめざしています。しかし、私たちの挑戦は肝臓だけにとどまりません。「腹部臓器の移植」という大きな夢を掲げ、膵腎移植実施施設としての認定も取得し、既に2例を施行。日本でも数少ない「総合的移植施設」へと進化を続けています。

【研修で得られるもの】

- ・**初期研修**： 全身管理のプロフェッショナルへ。採血やエコーなどの基本手技はもちろん、移植医療に必須である緻密な輸液・呼吸循環管理、感染症管理を学べます。外科だけでなく、移植内科としての視点も養うことができます。
- ・**後期研修以降**： 移植特有の高度な外科手技や免疫抑制療法を習得しつつ、関連病院での一般外科修練を通じて「外科専門医」を取得。その後は消化器外科・小児外科・肝胆膵外科の高度技能専門医、そして国内外留学と外科医への道が拓けています。

私たちと一緒に、日本の移植医療の未来を創りませんか？高度な医療現場ですが、科の雰囲気は非常にオープンです。百聞は一見に如かず。まずは気軽に見学へお越しください。手術の迫力と、チーム医療のダイナミズムをぜひ肌で感じてください。

連絡先

佐久間康成教授 naruchan@jichi.ac.jp

堀内俊男(医局員) r1446ht@jichi.ac.jp

医局 0285-58-7069



2024 年 とちぎ子ども医療センター前で撮影

【医師国家試験予想問題】

移植関連の国家試験問題は例年少ないですが、出題範囲には含まれています。肝移植に関する設問と、一般的な肝臓の解剖に関する設問を用意させて頂きました。

問題：日本の肝移植について、正しいものを1つ選べ。

1. 肝移植における絶対的禁忌として門脈血栓症がある。
2. 血液型不適合移植も施行される。
3. 生体肝移植ドナーの死亡例はない。
4. 15歳未満では脳死下臓器提供ができない。
5. 小児の生体肝移植の適応疾患としては、急性肝不全が最も多い。

正解：2

【解説】

- 1：× 門脈血栓症は手術手技の発展（血栓除去や血管再建）により移植可能な場合が多いです。絶対的禁忌としては、活動感染症（敗血症など）や肝外悪性腫瘍などが挙げられます。
- 2：○ 以前は禁忌とされていましたが、リツキシマブ（抗CD20抗体）の導入や血漿交換により成績が飛躍的に向上し、現在は一般的に行われています。
- 3：× 日本国内において、手術が原因でドナーが死亡した事例が1例報告されています（2003年）。
- 4：× 2010年の臓器移植法改正により、本人の意思が不明でも家族の承諾があれば、15歳未満からの脳死下臓器提供が可能となりました。
- 5：× 小児の適応疾患として最も多いのは胆道閉鎖症です。

問題：肝臓の解剖、区域、脈管系に関して正しいものを1つ選べ。

1. Rex-Cantlie 線は胆嚢窩と肝上縁の下大静脈を結ぶ線である。
 2. 肝臓は、S1～8 の 8 つの亜区域に分かれ、尾状葉は S8 に属する。
 3. 肝円索（肝鎌状間膜の下縁）の成因となる胎生期の構造はアランチウス管である。
 4. 肝周囲間膜には無漿膜野は存在しない。
 5. 肝臓に流入する血液のうち、酸素分圧が最も高いのは門脈血である。
-

正解： 1

【解説】

- 1：○ **Rex-Cantlie（レックス・カントリー）線**は、胆嚢窩中央と下大静脈左縁を結ぶ線で右葉と左葉の境界線です。
- 2：× **尾状葉は S1** に分類されます。S8 は右葉前上区域です。
- 3：× 肝円索は胎生期の**臍静脈の遺残**です。
- 4：× 肝臓と横隔膜と接する部分には腹膜に覆われていない**無漿膜野**が存在します。
- 5：× **酸素分圧が高いのは肝動脈**です。門脈は肝血流量の約 70～80%を占めますが、酸素分圧は動脈血より低くなります。